



笑顔いっぱい かがやく入谷っ子

子供たち頑張り

2学期がスタートして、1週間が経ちました。子供たちが頑張っている姿があちこちで見られます。

始業式当日、廊下ですれ違った1年生が、友達の水筒が置いてあったと話しかけてきました。同じ1年生の水筒だというので、「どうする。」と聞くと、「届ける。」と笑顔で話してくれました。教室に一度行きかけたその男の子は、立ち止まり、「まだ、手を洗ってないから、洗ってから届ける。」と言って、手洗い場に向かいました。途中で、落とし主に出会い、無事に届けることができました。「ありがとう。」という言葉も返ってきて、素敵な子供たちだなあと思いました。子供たちは、久しぶりに登校したにもかかわらず、1学期から行っている手洗いの大切さを守っています。

横断歩道で行っている登校の見守りでは、一人一人の目を見ながら挨拶をすることを心がけていますが、子供たちもよく目を合わせてくれます。暑さの中、マスクを外して登校してくる子供たちがいますが、その子供たちは、声を出さずに、目を見て会釈して通り過ぎていきます。マスクを外したら、話さないという約束を守っています。

下校時には、「ソーシャルディスタンス」とお互いに声をかけ合いながら、距離を保とうとしています。

子供たちは、本当によく頑張っていると思っています。一日も早く新型コロナウイルス感染症が収束することを願わずにはられません。

まだまだ厳しい状況ではありますが、今後も保護者の皆様と共に、安心・安全な学校生活を送れるように配慮していきたいと思っています。引き続き、御理解・御協力お願い申し上げます。

前向きな子供たちの思い

一人一人の2学期の目標が、教室内に掲示されています。いくつか紹介します。

- 「学校でみんなにいいあいさつをしたい」
 - 「ともだちともっとなかよくなりしたい」
 - 「こまっている子がいたら声をかける」
 - 「たいいくでみんなときょうりょくしてがんばりたいです」
 - 「言葉づかいに気をつけたいです」
 - 「自分の意見と人の意見を比べる。良い考えを見つける」
 - 「低学年の見本になる」
 - 「周りの人の役に立ちたい」
 - 「毎日、本を読む」
 - 「早ね・早おきをして健康に過ごす」
 - 「くろーむぶっくになれていきたいです」
 - 「仲間を上げまし、助け合う。こわがらず勇気を出す」
 - 「そうじをがんばりたいです。理由は、学校じゅうをぴかぴかにしたいからです」
 - 「係や委員会のみんなで協力したり、家の手伝いをしたりしてかつやくする」
- 一人一人が立てた目標に目を通しながら、子供たちは、前を向いて進んでいこうよりよく生きていこうという思いにあふれているなあと嬉しく思いました。

今学期も、教職員一同、子供たちを支え、成長を促していきたいと思っています。